

児童目標は「かしこく・やさしく・前むきに」

西本梅小学校だより

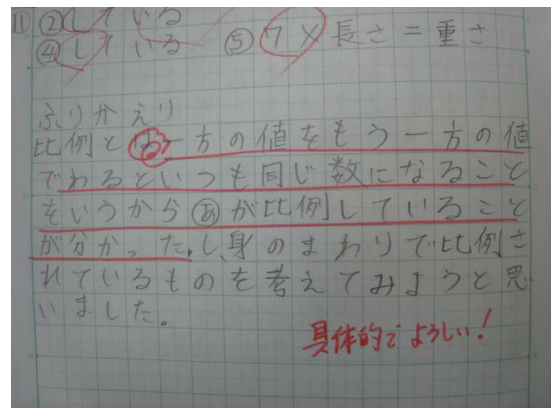
基礎・基本の徹底と考える力の育成による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進

〒622-0066 京都府南丹市園部町南八田中山17 TEL 0771-65-0014 FAX 0771-65-0662
 ホームページ（HP）もご覧ください <http://www.be.city.nantan.kyoto.jp/nishihonme-es/>



授業参観日に運動場に咲いていたヨメナです。秋に白かうすむらさきの花を咲かせる野のキク類をヨメナと呼ぶことが多いようです。別名はウハギ。季節季節の野の花を見つけると、「今年もこの花の時期になったんだなあ」と感慨をおぼえます。

授業公開・ノートフェスティバルご参観 ありがとうございます



10月16日（金）、「毎月授業参観の機会を」とのご要望に応え、また、本校が今年度から進めている算数科教育研究への理解を深めていただく試みの一つとして「授業参観・ノートフェスティバル」を行いました。

各学年とも 校時のいずれかで算数の授業を公開し、それをふまえて子どもたちの算数ノートをご覧いただきました。右の写真は、6年生のノートの一部ですが各時間の「ふりかえり」に注目していただくために拡大しました。読めるでしょうか？「比例とは、一方の値をもう一方の値でわるといつも同じ数になることをいうから(あ)が比例していることが分かったし、身のまわりで比例しているものを考えてみようと思いました。」と書いています。「今日はよく分かった」というような、よくありがちなお座なりの感想ではなく、分かった内容の具体的な確認や今後の注意点を書いています。この児童だけでなく、全校の児童が「ふりかえり」までしっかり学ぶような算数科教育研究を進めています。

参観後、「1学期より授業の内容が少しずつ難しくなっており、どんなふうに取り組んでいるのかが、授業を見て様子がよく分かりました。人数が少ないので、自分の考えや答を言葉にして発表したり言ったりする機会が多くあり、授業に意欲的に取り組んでいるように思いました。ノートフェスティバルでは、今まで勉強してきた算数やひらがなが上手く書けるようになり、他の子ども達のノートも見られてとても参考になりました。ありがとうございました」というご感想もあり、指導する私たちはとても勇気づけられました。

今後とも皆様からいただいた様々なご意見を参考にし、子どもたちの学力向上に向けて精一杯取り組んでまいります。

目次：

授業参観お礼	1
生活体験学校	2
生活体験学校	2
生活体験学校	3
生活体験学校	3
行事予定	4
編集後記	4

生活体験学校 思い出のアルバム 秋を見つけ秋



あかまつ生活体験学校は、今年も好天に恵まれ、楽しかった思い出をいっぱい残して終わりました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

1・2年生は1日目のゲストティチャー（GT）に樋口道隆氏を迎え、木の実や枝・落ち葉など集めながら秋を体感し、自然の素材を使って色画用紙の上に個性豊かな作品を作りました。2日目は、少年自然の家から里山に登り、自然の素材でかざりを作ったり家やブランコを作ったりして、友だちとともに仲良く楽しく秋を満喫しました。なお、1日目の作品は、11月8日（日）「るり溪資料館3周年展」で展示していただきます。4年生以上は毛筆作品を展示していただきます。

環境について研究・観察・検査 体験して学んだ4年生

昨年3年生として、GT林功先生に「山の楽しみ方を知ろう」のテーマのもと、1日目は自然の家周辺の木の実や草花や山の歩き方を教えていただき、2日目は果敢に深山登山にチャレンジして、全員登頂し、無事に自力で自然の家に帰着した子どもたち。

今年はGTとして南丹広域振興局商工農林部の方々を迎えました。初日は「水の力や川の働きを学ぼう」をテーマとして、水質の調べ方、森林の働きを実験を通して学びました。2日目は初日の学習をふまえて、「奥山川を探検しよう」と、川沿いを下って歩きました。水質検査をしたり森林の様子から分かることを教えていただいたりしました。午後はり溪散策を楽しみながら、水質検査などをしました。

学習・体力、両面で大きく成長した4年生です。



木と人々のくらしを間伐体験などを通して学んだ5年生



5年生の1日目は園部町森林組合の3氏にご指導いただいて、森林の働きや南丹市の林業の状況を学び、松の間伐体験をしました。2日目は、地域の方をGTに迎え、間伐した松を適当な長さに切ったあと、皮むきを体験しました。のこぎりやなたなど、使い方をあやまると大けがにつながる作業でしたが、今年も「けがをしない記録」を更新し、立派な活動ぶりでした。また、2日目の昼食は、飯ごうで山菜ご飯を炊き、豚汁も調理実習して、山のごちそうもいただいた5年生でした。

今年も学生スタッフは、5人の方々にお世話になりました。

ふれあい・仕事・自然との共生 学びを深めた6年生



6年生は、最上級生として充実した活動を展開しました。1日目の午前は「お年寄りとのふれ合い隊」として、大河内のご老人の方々と同地区公民館で、昔の遊びで交流し、戦中・戦後の貴重なお話を聞かせていただき、考えを深めました。大河内のおじいちゃんおばあちゃん、ありがとうございました。午後は、るり溪温泉で、社会の一員として働く体験をさせていただきました。事前学習で同温泉の坂本敬尚氏に教えていただき、当日も活動の確認をして、レストランでの給仕、温泉のフロント係、パン工房でのパン作り、売店のレジ係に分かれて職場体験しました。明るい笑顔で「いらっしやいませ」とがんばっていました。2日目については、西本梅学くんが報告します。

工藤先生 今年もありがとうございました 楽しくできたよ陶芸体験

あかまつ生活体験学校のGTは、それぞれの学年の学習や体験活動にふさわしい「超一流」の方々にお世話になっています。これが本校教育のほこりの一つです。

3日目の全校プログラムは、京都伝統工芸大学の工藤良健教授に来ていただき、そのご指導を得て、陶芸体験をさせていただきました。3日目で疲れてきた子どもたちでしたが、工藤先生のたくみなお話とすばらしい技に目を見はって聞き入り、その後の実習も最後まで熱心に取り組みました。昨年に引き続いての陶芸体験でしたので、2年生以上は「どんな食べ物を盛る器なのかをイメージして」という工藤先生のご指導を生かして創作しました。1年生も個性的な作品づくりにチャレンジしました。工藤先生には作品完成までお世話になります。



西本梅 学くんのふるさと学習 6年生に同行してるり溪の岩石研究



今日は、ぼくは、西本梅小学校3年生の西本梅学です。今回は、6年生の2日目のプログラム「るり溪自然探検隊」についていきました。

6年生は、9月に京都教育大学名誉教授・井本伸廣先生から火山や地しん、るり溪の土地のようすなどについて教えてもらっていました。この日は、大学で井本先生に学ばれた京都府立桂高校の高木先生（地学という科目の先生で岩石にくわしい）をGTに迎え通天湖近くで花崗岩（かこうがん）、榎（えのき）近くで溶結凝灰岩（ようけつぎょうかいがん）などについて、教えてもらいました。昼食のあと玉走盤（ぎょくそうばん。第3号で報告）近くで、楽しみにしていたガーネットという宝石を全員が発見することができて、みんなまんぞくしていました。

6年生のみなさんは、るり溪の岩石をとおして、ふるさとへの理解をさらにふかめたようでした。

これからの行事予定

11月

- 2日(月) 5年社会見学 就学時健康診断
- 3日(祝) 文化の日
- 4日(水) 児童会総会(朝の活動時間に)
東14:25 西14:46 南14:23
- 6日(金) 持久走・駅伝前健康診断
- 7日(土) 南丹・船井小学校駅伝競走大会
- 8日(日) 資源回収日
- 9日(月) 人権旬間開始 あかまつ班遊び
- 10日(火) お話タイム 低学年学習発表会
- 11日(水) がんばりタイム 下校は4日に同じ
- 13日(金) 6年京都市内歴史見学
- 16日(月) 人権アピール集会 歯科検診
子育て相談日~17日
- 17日(火) 高学年学習発表会
- 18日(水) 4年授業研究会 がんばりタイム
下校は4日に同じ
- 20日(金) 計算チャレンジ
- 21日(土) キッズふれあい駅伝
- 23日(祝) 勤労感謝の日
- 24日(火) 漢字チャレンジ
- 25日(水) 小学校教育研究会のため4校時授業
集金袋配布日 東13:20 西13:40
南大谷は東バスに乗車

12月の行事予定から(くわしくは次号で)

- 1日(火) 計算チャレンジ
- 2日(水) がんばりタイム
- 3日(木) 持久走大会
- 4日(金) 人権意見発表会
PTA人権教育研修会
- 7日(月) 漢字チャレンジ あかまつ班遊び
- 8日(火) お話タイム 持久走大会予備日
- 9日(水) がんばりタイム
- 11日(金) 集金袋配布日
- 14日(月) 集金日
- 16日(水) 地域児童会
- 17日(木) 持久走タイム記録会
- 23日(祝) 天皇誕生日
- 24日(木) 給食終了 4校時授業
- 25日(金) 終業式 4校時授業

10月8日(木)は警報発令により臨時休校となりました。今年度も定められた各教科等の授業時間数を十分確保して教育計画を立て、朝学習や放課後の個別指導にも取り組んでいます。これにより、休校の回復措置としての7校時授業や冬休み期間の短縮等はいりません。ご理解のほどよろしくお願いします。

編集後記

運動会も終わり、秋もだんだん深まってきたころから外で遊ぶことを大いに奨励しています。運動場の整備にも努め、運動場で大いに汗をかくような運動・遊びをすすめているのです。写真には4人しか写っていませんが、背後では、大勢の子どもたちがキックベースやサッカー型遊びをしています。インフルエンザ予防に、手洗い・うがいは大切ですが、運動量の多い遊びを通して、体力を付けることも必要でしょうね。

あかまつ生活体験学校において、子どもたちが全員参加で全日程を終えたことに大きな喜びを感じています。同じ秋でも、万葉集には柿本人麿の

もみじ葉の過ぎにし子らとたずさわり

遊びし磯を見れば悲しも

(もみじの葉のようにはかなく散っていった子らと手を取り合って遊んだ磯を見ると、悲しみもひとしおです)という歌があって、その歌とは対照的に元気な子どもたちと過ごした3日間をととても幸せに思いました。1ページ左上の嫁菜(ヨメナ・ウハギ)



に関わって、柿本人麿は、同じく万葉集に
妻もあらばつみてたげまし佐美の山
野の上(へ)のうはぎ過ぎにけらずや
(もし妻がそばにいたらつんで食べただろうに。
佐美の山の野原の嫁菜は、食べ頃が過ぎてしまっ
た)という歌を残しています。嫁菜の春の若芽は
食用になっていたのですが、この歌には、妻を亡
くした人麿の寂しい思いを感じ取ることができます。
11月1日は京都府が中心になって提唱した
「古典の日」です。人麿の歌を声に出して読み、
人麿に思いを寄せ、今の幸せをかみしめることは
人麿も肯定してくれるのではないのでしょうか。
今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。